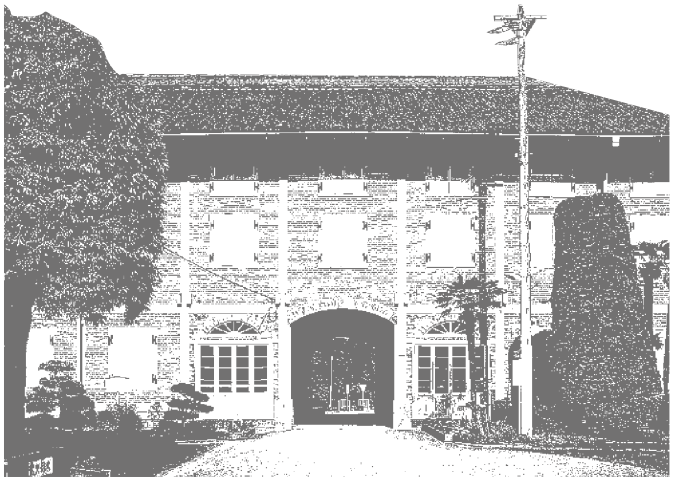
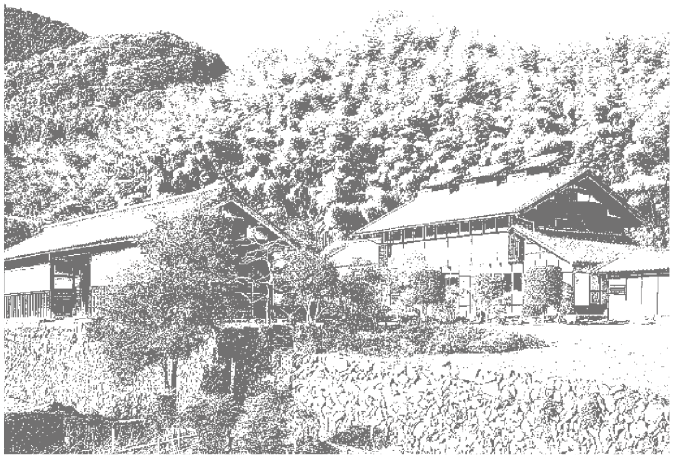
平成26年度
「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報





群　馬　県

平成26年度
「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

群　馬　県

ごあいさつ

平成26年６月21日にカタールの首都ドーハで開催されたユネスコ世界遺産委員会において、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が国内で18件目となる世界遺産に登録されることが決定し、同月25日に正式に登録されました。富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の４つの構成資産には大変多くの方にお越しいただいており、平成26年度の各構成資産への来訪者数は、平成25年度と比較すると４倍以上にのぼり、世界遺産への関心の高さを改めて認識するとともに、この大切な遺産を確実に将来に引き継がなければならないという責任を感じております。

その平成26年度は、イコモスからの登録勧告に始まり、ユネスコ世界遺産委員会での登録決定、記念行事の実施、大規模な保存修理への着手や、群馬県で初めてとなる富岡製糸場の国宝指定など、めまぐるしく駆け抜けた１年となり、ほかにも、道路や修景といった周辺整備など、様々な事業が平行して進みました。世界遺産としての価値を確実に守りつつ、景観の整備や来訪者の受入体制の充実に向けて県と市町で継続して取り組んでいるところです。

この冊子は、世界遺産登録以降の様々な出来事や事業を記録し、今後の事業の実施に役立てるとともに、県民の皆様をはじめ多くの方にお知らせすることを目的として、今回初めて作成するものです。

結びに、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐため、文化庁や関係自治体をはじめ、専門家の皆様、地元の皆様など、多くの皆様に引き続き御支援を賜りたくお願い申し上げ、あいさつといたします。

平成28年３月

群馬県知事　大澤正明

例　言

１．本書は､｢富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録年度を起点とし、各年度における出来事や、保存修理、モニタリング結果、普及啓発及び調査研究等の事業の実施状況の概要を記録して冊子としてまとめることで、今後の世界遺産関連事業の実施のための参考とするとともに、本書を公開し、世界遺産を将来の世代に継承するための取組について広く周知することを目的として作成したものである。

２．本書の編集は富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町の協力のもと、群馬県企画部世界遺産課が行った。

目　次

第１章　平成26年度の主な出来事

１　イコモス勧告 … 2
２　第38回世界遺産委員会 … 2
３　群馬県内での記念行事 … 4
４　第１回群馬県世界遺産専門委員会の開催 … 5
５　大規模修理の着手 … 6
６　群馬県で初の国宝指定 … 8
７　すべての構成資産で過去最多の来訪者数を記録 … 8

第２章　構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況

１　主な文化財保存事業の実施状況 … 10
２　主な現状変更及びき損届一覧 … 14
３　群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の開催状況 … 16
４　各構成資産への来訪者数の推移 … 18
５　周辺整備の状況 … 20
６　群馬県及び各市町における基金の状況 … 22
７　調査研究事業の実施状況 … 23
８　ぐんま絹遺産 … 24

第３章　普及関連事業の実施状況

１　富岡製糸場における暫定展示 … 28
２　世界遺産登録記念シルクカントリーin 富岡 … 29
３　世界遺産登録記念シルクカントリーぐんま伝統芸能の祝祭 … 30
４　各市町における普及関連事業 … 31
５　主な民間の活動 … 32
６　群馬県及び各市町の発行物一覧 … 33
群馬県提供写真利用許諾件数

利用案内 … 34

世界遺産登録決定の瞬間

第38世界遺産委員会（カタール・ドーハ）にて
（左から大澤正明群馬県知事、青柳正規文化庁長官、門司健次郎ユネスコ日本政府代表部特命全権大使）

群馬県庁１階で懸垂幕を披露

世界遺産登録に沸く各地の表情

富岡市

伊勢崎市

藤岡市

下仁田町

県内各地の世界遺産登録記念イベント

富岡製糸場と絹産業遺産群　世界遺産登録記念式典（平成26年９月７日　群馬会館）

富岡製糸場　世界遺産登録記念式典
（平成26年７月26日　富岡製糸場）

伊勢崎市誕生10周年記念事業・世界遺産登録記念イベント
「世界遺産を活用したまちづくり」
（平成26年８月１日　伊勢崎市境総合文化センター）

世界遺産登録記念フェスティバル
（平成26年10月５日　みかぼみらい館）

荒船風穴世界遺産登録記念式典
（平成26年８月31日　下仁田町文化ホール）

大規模保存修理

解体修理を控える国宝・西置繭所

荒船風穴の１号風穴の石積復旧工事が完了

第１章

平成26年度の主な出来事

１．イコモス勧告（平成26年４月26日）

世界遺産推薦書を提出すると、その後はユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査を経て、例年６～７月頃に開催される世界遺産委員会で登録の可否が決定することになっているが、それに先駆けてイコモスから事前に審査結果に関する勧告が行われる。

本県では、平成25年１月にユネスコへ世界遺産推薦書を提出し、同年９月に現地調査が行われた。そして、平成26年６月に行われるユネスコ世界遺産委員会での審議を控えた４月26日、同委員会の諮問機関であるイコモスから同委員会への勧告が発表された。

その内容は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」を世界遺産に登録すべきというもので、これを受けて、世界遺産委員会において世界遺産に登録されることが確実となった。

この一報は群馬県内のみならず全国を駆け巡り、各構成資産の地元では祝福ムードに包まれただけでなく、それまでに経験したことのないほどの多くの方がそれぞれの資産に訪れた。

この後、中東の国、カタールの首都ドーハで行われる第38回世界遺産委員会に向けて、世界遺産登録への期待で盛り上がっていった。

２．第38回世界遺産委員会（平成26年６月15日～25日）

第38回世界遺産委員会は、平成26年６月15日～25日、カタールの首都ドーハの「カタール・ナショナル・コンベンション・センター（QNCC）」で開催され、群馬県から大澤正明群馬県知事と６名の職員が現地に赴き、現地対応及び日本国内との連絡調整を行った。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の審議は、現地時間６月21日（土）午前10時30分（日本時間午後４時30分）から開始され、多くの委員国からの賛同を受け、同10時55分に世界遺産登録が決定となった。

決定後、門司健次郎ユネスコ政府日本代表部特命全権大使、大澤正明知事からスピーチを行い、感謝の意を表明した。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は世界遺産委員会の最終日である６月25日（水）に、世界遺産一覧表に正式に記載された。

〈第38回世界遺産委員会について〉
日程　平成26年６月15日～25日
会場　カタール国ドーハ　カタール・ナショナル・コンベンション・センター
主な内容　①危機遺産の保全状況に関する審議…44件
②世界遺産の保全状況に関する審議…97件
③新規記載案件に関する審議…36件（うち26件が登録）

第38回世界遺産委員会決議

議題38COM 8B.27

世界遺産委員会は、

１．文書WHC-14/38.COM/8B及びWHC-14/38.COM/INF.8B1を審査した結果、

２．評価基準（ⅱ）、（ⅳ）の下に「富岡製糸場と絹産業遺産群」を世界遺産一覧表に記載し、

３．以下の顕著な普遍的価値の言明を採択し、

摘　要

明治時代初期に遡る富岡製糸場は、養蚕農家、養蚕教育施設及び蚕種冷蔵所で構成される関連施設とともに、伝統的な生糸生産国であった日本が急速に最善の大量生産手法の導入に邁進したことを表している。日本政府は、群馬県において一貫した生産システムを確立すべく、フランスの機械及び産業の専門的知識を導入した。すなわち蚕種の生産、蚕の飼育、大規模な機械化された製糸場の建設である。その結果、モデル工場としての富岡製糸場と関連資産は、19世紀末期の四半世紀に日本の養蚕と絹産業の刷新に決定的な役割を果たし、日本が近代工業化世界に仲間入りする鍵となった。

評価基準（ⅱ）：富岡製糸場は、製糸産業の技術をフランスから日本に、早い時期に、完全に移転することに成功したことを示している。地元での長年の養蚕の伝統を背景として行われたこの技術移転は、製糸産業を抜本的に刷新した。この結果、富岡は技術改良の拠点となり、20世紀初頭の世界の生糸市場における日本の役割を証するモデルとなり、世界的に共有される養蚕製糸文化が早い時期に出現したことの証拠となっている。

評価基準（ⅳ）：富岡製糸場と絹産業遺産群は、生糸の大量生産のための一貫した集合体の傑出した見本である。工場の広さ、当初の計画、そして西洋の最良の技術を計画的に採用したことは、日本と極東に産業の方法論が伝播する決定的な時期だったことを示している。19世紀後半の大きな建築物群は、和洋折衷という日本特有の工業建築の様式の出現を示す卓越した事例である。

完全性

シリアル資産の構成の完全性は良好であり、繊維の中間製品である生糸の生産複合体の概念を表現している。各資産の構造面及び機能面の完全性は一様ではなく、特に高山社跡と荒船風穴については来訪者にとって理解しにくいところがある。景観の完全性は、緩衝地帯と関連することから、特に注意が必要である。

真実性

提示された構成資産の真実性は、構造、形状、材質の様々な側面において、全般的に満たされている。富岡製糸場の知覚上の真実性は、繊維機械が完全に維持されていることから、注目に値する。荒船風穴の修復作業は、真実性の観点から厳格に管理された枠組みの中で留める必要があり、考古学的性質を維持しなければならない。

管理及び保護の要請事項

シリアル資産を構成する４資産は、いずれも日本の文化財保護法により保護されている。主要な建物は更に重要文化財として保護されている。この法律の適用により、私有資産の田島弥平（旧宅）(S2）を含めて、各資産は、市町管轄の保存管理計画がすでに機能しており、保護されている。この保護政策の延長として、緩衝地帯は、論理的には厳格な方法を用いて、都市や自然環境をコントロールするという目的と一致する。管理体制は、市町、文化庁及び県、地域の絹遺産に関する専門学術機関、ボランティア団体の十分なサービスによって支えられている。2012年春に設立された協議会（群馬県世界遺産協議会）は、全体を統括する組織として、実際の運用を調整する責任を負う。

４．推薦国が以下に配慮することを勧告する。

・緩衝地帯についての保護策を厳格に適用する、あるいはさらに強化することによって、資産周辺における経済的及び都市的発展に引き続き十分留意し続けること。

・荒船風穴の考古学的遺産としての性質、および保全のための屋根をかけることの利点と欠点についてより深く考慮すること。

・構成資産の管理計画の様々な規定が全体として調和され、より統一されたものとするために、構成資産それぞれの管理体制と全体調整を担う協議会の協力関係を強化すること。

・フランスからの、あるいは国内の女性たちが指導者及び労働者としての役割を果たしたことによる専門技術の移転についての調査を行うこと。また、労働者の労働・社会的境遇についての知見を増すこと。

３．群馬県内での記念行事

（１）第38回世界遺産委員会パブリックビューイング（平成26年６月20・21日）
　　世界遺産登録報告会（平成26年６月24日）

第38回世界遺産委員会で世界遺産登録への可否が審議されているさなか、県庁でもその様子を見守るべくパブリックビューイングの会場が設けられ、およそ500人が詰めかけたほか、構成資産の所在する富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町においてもパブリックビューイングの会場が設けられ、登録決定の瞬間を待った。登録決定後、カタールにいる大澤知事から、県庁で吉報を待つ群馬県議会の須藤議長に電話で登録の一報が伝えられた。県庁では万歳三唱ののち、県庁１階のエントランスホールにおいて登録決定を祝う懸垂幕がお披露目された。イコモスによる登録勧告から２ヶ月弱、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録の吉報が再び全国を沸き立てた。

登録決定の３日後、県庁において帰国した大澤知事による報告会が行われた。登録決定後、初めて県と４市町の首長を始めとする関係者が一堂に会し、登録の喜びを分かち合った。

報告を行う大澤知事

（２）世界遺産登録記念式典（平成26年９月７日）

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されたことを記念し、世界遺産登録記念式典が群馬会館で開催された。

大澤知事や構成資産の所在する富岡市の岩井賢太郎市長、伊勢崎市の五十嵐清隆市長、藤岡市の新井利明市長、下仁田町の金井康行町長をはじめ、群馬県選出の国会議員、文化庁、県議会議員、県内市町村長など約300人が出席する中、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値が改めて説明されたほか、登録を振り返る映像の上映や、世界遺産登録に尽力した関係者への感謝状贈呈、世界遺産登録応援のためのメッセージカード募集結果報告と賞品贈呈などが行われた。これに続き、内閣官房参与・前ユネスコ日本政府代表部特命全権大使・木曽功氏による「ユネスコ世界遺産条約の現状と未来」と題した講演が行われた。（各市町による記念式典については、31頁に記載。）

４．第１回群馬県世界遺産専門委員会の開催（平成27年２月10日）

群馬県では「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録に向けて、学術的・専門的な検討を行うため「群馬県世界遺産学術委員会」を設置し、指導助言を受けながら検討を進めてきた。この「群馬県世界遺産学術委員会」は、設置要綱により世界遺産登録をもって解散となった。

登録後も、顕著な普遍的価値を次世代へ確実に継承するために、県と関係市町が策定した「包括的保存管理計画」に定めた保存管理及び整備活用の実施に向けて、学術的・専門的な指導助言を得る必要があった。このため､「群馬県世界遺産専門委員会」を新たに設置し、第１回の委員会を開催した。ここでは、委員長・副委員長の選出のほか、資産及び周辺における保存管理・整備活用の課題について話し合われた。

【構成委員】(所属は第１回開催当時のもの)（〇は委員長）

	岡田　保良	(国士舘大学教授・イコモス前執行委員)
	石井　寛治	(東京大学名誉教授)
	鈴木　　淳	(東京大学大学院教授)
	堀　　勇良	(元文化庁文化財部参事官（建築物担当）調査部門主任調査官)
〇	苅谷　勇雅	(日本イコモス副委員長)
	小林　　享	(前橋工科大学教授（景観工学))
	宮脇　　勝	(千葉大学大学院准教授（建築・都市科学))
	小池　利佳	(公益財団法人　日本交通公社客員研究員)　　以上８名

【第１回委員会における主な意見】

- 何が世界遺産としての価値なのか、もう一回原点を問い直す意味でも、継続的に調査研究を行った方がよい。
- 来訪者数はいずれ落ち着くと思われる。現状の来訪者数が多い時の対応と今後の安定期の対応での場合分けが必要である。
- 太陽光発電施設は現状では許可できてしまうため、制度づくりの検討も必要。
- 街並み景観については､最初に整備イメージを持っていないと､誘導方向や落ち着き所が定まらない。
- 時間をかけてまちづくりのビジョンを持つ事は大切であるが､建物の色や壁の文字など､景観上困ったものが出来ている部分は、早急な対応をした方がよい。
- 事業者や来訪者を含めた、市民すべてのマナーを向上させる工夫が必要である。
- 客や店舗のマナーの悪さが資産の価値を下げる場合もある。どういった観光のスタイル・イメージを持つかが大切である。
- 世界遺産が環境問題の一つであり、歴史的環境の重要性を住民の方に分かってもらうための解説が必要。歴史的環境問題として理解されないとルールを守れない。
- ４資産を１日で回ることを勧めるのは、あまり良くない。絹関連の他の施設の連携や、見所の季節の紹介などで、滞在時間を伸ばして１泊してもらうことを、県として打ち出していくことで観光振興に結びつく。

５．大規模修理の着手

「富岡製糸場と絹産業遺産群」を構成する各資産は、いずれも完成から100年以上が経過しており、将来の世代に継承するために根本的な保存修理が必要な状態となっている。そのため、各市町では、保存管理や整備活用に係る計画を策定（策定中を含む）し、計画的な保存修理に着手することとなった。

（１）富岡製糸場

富岡市では、平成24年10月に策定された「史跡・重要文化財（建造物）旧富岡製糸場整備活用計画」に基づき、今後30年に及ぶ建造物群の保存修理が計画されており、その最初となる西置繭所の修理が平成26年度から６箇年計画で開始された。

・西置繭所

西置繭所は、富岡製糸場の創業当時（明治５年、1872年）、繭を貯蔵しておくために建設された施設であり、国宝に指定されている３棟（このほかに繰糸所、東置繭所）の建造物のうちの一つである。建設から140年以上が経過し、劣化が進み、耐震化も必要であることから、解体を伴う本格的な保存修理に着手した。平成26年度においては、工事区域の整地や仮囲いの設置、建物全体を覆う素屋根を建設するための基礎の設置や、床下の発掘調査を行うための床組の解体、調査に伴う内部のベニヤ板や外部の鉄板の解体等を実施し、平成27年度以降に行われる本格的な解体工事に向け準備が進められた。

・乾燥場

乾燥場は、運び入れた生繭を蛾が出ないように殺蛹し、貯蔵のために乾燥させることを目的として大正11年（1922年）に建設された施設である。平成26年２月に県内に大きな被害をもたらした大雪により、広範囲にわたり倒壊するなど、場内で最も大きな被害を受けた。平成26年度においては、倒壊した部分の全ての部材を解体し、整理・調査を行い、再利用可能と判断された部材については、復旧作業に向けて保管された。

乾燥場の解体工事

（２）高山社跡

藤岡市では、平成25年３月に策定された「史跡高山社跡整備活用基本計画」に基づき、平成30年度までの保存修理や整備活用が計画されており、その最初となる焚屋（風呂や炊事に用いられたと考えらる建物）及び外便所の保存修理が開始された。

・焚屋・外便所

焚屋及び外便所は、母屋兼蚕室に隣接した現存する建物である。建築年代は不明であるが、いずれも明治24年（1891年）の家相図にその存在が描かれている。いずれの建物も屋根や壁、建具の損傷が激しく、早急な修復が必要な状況であったことから、保存修理に着手した。平成26年度においてはそれぞれ、解体をしながら建物改修の痕跡調査を行い、保存修理方針の検討を行い、平成27年度内に復原工事が完了することとなった。

焚屋の痕跡調査

（３）荒船風穴

下仁田町では、平成24年３月に策定した「『国指定史跡荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡』荒船風穴蚕種製造所跡保存管理計画書」に基づき、今後の整備の基本理念と整備目標の基本的方針を定めるため、平成27年３月に「国指定史跡荒船風穴整備基本構想」を策定した。この構想に基づき、平成27年度には「整備基本計画」を策定する予定となっている。また平成26年度には、平成22年３月に崩落し保存修理が継続していた１号風穴の石積みの復旧工事が完了した。

・１号風穴石積復旧工事

荒船風穴に現存する３つの風穴のうち、最も上流部に位置し、明治38年（1905年）に最初に建設された１号風穴の石積は、平成22年３月に崩落した。その復旧に向けて石材の調書の作成や測量調査、発掘調査や設計などを複数年かけて実施してきた。復旧工事は平成25年度中に完了する予定であったが、先述の平成26年２月の大雪により作業が中断したため、平成26年８月に、４年以上の年月をかけて完了した。

６．群馬県で初の国宝指定（平成26年12月10日）

富岡製糸場に現存する建造物のうち中核をなす繰糸所、東置繭所、西置繭所の３棟が、「明治政府の産業近代化の政策を端的に物語り、世界の絹文化の発展に大きく貢献した我が国の絹産業の拠点施設であり、文化史的に深い意義がある」（平成26年10月17日付け文化庁報道発表「国宝・重要文化財（建造物）の指定について」より抜粋）として国の文化審議会により国宝に指定することを文部科学大臣に答申し、群馬県で初となる国宝に指定された。なお、産業遺産としては全国で初となる国宝指定であった。

７．すべての構成資産で過去最多の来訪者数を記録

４月26日のイコモスからの登録勧告、６月21日の世界遺産委員会での登録決定を受けて、「富岡製糸場と絹産業遺産群」は非常に多くの注目を集めた。特に、イコモスからの登録勧告から見学者が急激に増え、平成26年度における各資産への来訪者数は平成25年度の４倍を上回り、４資産合計で145万4,887人が訪れ、世界遺産登録への関心の高さを改めて示すものとなった。

（来訪者数の詳細は、第２章４「各構成資産への来訪者数の推移」（18頁）を参照）

富岡製糸場への入場を待つ来訪者の列

第２章

構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況

１．主な文化財保存事業の実施状況

平成26年度に各構成資産で行われた主な文化財保存事業については以下のとおりである。

（１）富岡製糸場

①西置繭所（詳細は第１章５（６頁）を参照）

建設から140年以上が経過し、経年劣化に伴う構造補強及び耐震化が必要であることから、解体を伴う本格的な保存修理に着手するため、設計監理業務委託契約を締結し、現地調査及び設計監理を行った。また、仮設解体工事契約を締結した。（次年度以降も継続）

②乾燥場・繭扱場ほか２棟保存修理工事（詳細は第１章５（６頁）を参照）

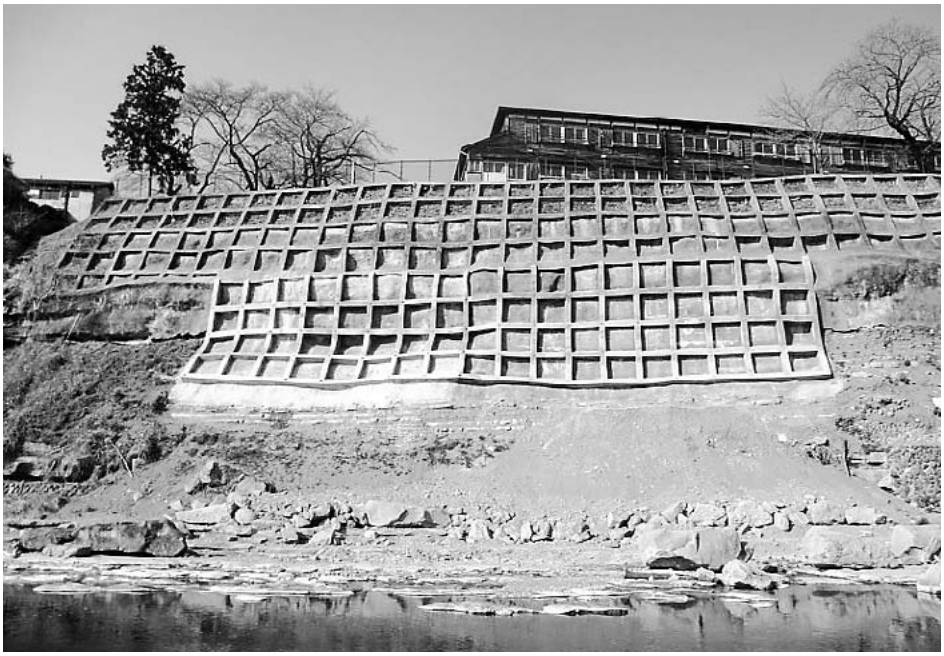
平成26年２月の大雪により被災した乾燥場、繭扱場、動力室、小枠置場について保存修理を実施するため、解体調査工事を行った。乾燥場・繭扱場は雪害により倒壊した指定範囲の解体及び解体材の整理・格納を行い、小枠置場及び動力室は、解体のための番付打ちを行った。併せて機械・備品類についても移設・格納を行った。（次年度以降も継続）

③便所15保存整備工事

建造物の老朽化対策と富岡製糸場見学者の増加に伴う便益施設の不足に対処するため、便所15の保存修理工事を行った。多目的トイレとして整備することにより、見学者の利便性や快適性に配慮する仕様とした。

④南面崩落対策

平成24年度に富岡製糸場の南側を流れる鏑川に面している法面中段部が崩落した。法面の風化と砂岩のオーバーハングが見られたため、史跡保護を目的とした恒久工事として、幅およそ63ｍの範囲について崩落対策工事を行った。（次年度以降も継続）



鏑川法面崩落対策工事

⑤診療所北便所整備工事

富岡製糸場見学者の増加に伴う慢性的な便益施設の不足に対処するとともに、来場者のおもてなしに努めるため、診療所の北側に新たな便所を設置した。整備は地下遺構の保護を考慮するとともに、スロープを設置する等、見学者の利便性や快適性に配慮する仕様とした。

⑥発掘調査

下水竇と支線、蒸気釜所跡及び汽缶場跡、燥繭場跡、乾燥場周囲、便槽跡等、合わせて約250㎡の発掘調査を行った。また、一般向けの現地説明会を10月５日に開催し、約100名の参加者があった。

新たに整備された診療所北便所

（２）田島弥平旧宅

①主屋の建造物調査

主屋と主屋に接続している新座敷、文庫蔵について平面図、断面図、立面図、痕跡図等を作成し、保存整備の実施に向けた基礎データを得た。平成20年度と22年度に調査が行われていたが、居室部分と新座敷と文庫蔵については未調査だったため、補足的な調査を行った。

（３）高山社跡

①焚屋・外便所保存修理工事（詳細は第１章５（７頁）を参照）

高山社跡敷地内にある建物のうち､特に破損が進んでいる焚屋と外便所について調査を行い、解体し、復原工事に着手した。

解体修復に伴い基礎等の状態が明らかになったため、建築の耐震性に係る構造計算を行い、基礎補強の必要性について検討した。これらの結果を踏まえ、基礎や地盤に係る取り扱いを検討し、焚屋については基礎の据え直し、外便所については布基礎を追加することとなった。

②長屋門修復・補強工事実施設計

平成27年度に修復・補強工事の実施を予定している長屋門について、同工事の実施設計書及び図面を作成した。

外便所保存修理工事

（４）荒船風穴

①１号風穴石積復旧工事（詳細は第１章５（７頁）を参照）

平成22年３月に崩落した１号風穴南面崩落部分の石積復旧工事が８月に完了した。崩落岩の解体調査、測量結果などより得られた石積み方法を踏まえて設計を行い、平成25年度より本工事に着工した。

②管理棟（番舎）跡及び周辺試掘調査

管理棟（番舎）跡等周辺施設の建物情報を得ることを目的に発掘調査を行った。古写真等により建物位置を想定しての部分的な発掘となった。結果、物置・便所・池等の周辺施設の位置を確定でき、貯水槽と池をつなぐ埋設注水土管を確認できた。調査終了後には埋戻しを行った。また、管理棟南側の土留め石積の崩落が進んだため、試掘調査を行い、石積復旧を実施した。

③定点観測

石積の位置の変動を調査するため、平成25年度に設置した測定器を追加して設置した。

④１・２号風穴石積立面図カルテ作成

立面図を作成し、石積の規模や変形要因の調査を行った。石積の基礎情報を把握するとともに写真撮影等行い、必要箇所の冷風及び石材温度の調査を行った。

次年度は３号風穴石積カルテを作成する予定である。

⑤遊歩道緊急整備工事

風穴の北側にある遊歩道の石積の保護のため、木柵による土留め対策を実施した。また、急増した来訪者の転倒防止と土砂流出防止のため、ゴムマット敷と木製の手すりを設置した。このほか、危険が予想される２号風穴内と１号風穴石積上部への立入防止策としてネットフェンスを設置した。

管理棟（番舎）跡発掘調査

遊歩道緊急整備工事（ゴムマット設置）

２．主な現状変更及びき損届一覧

平成26年度　文化財保護法に基づく現状変更等届一覧（主なもの）

富岡製糸場

№.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	富岡市長	便所15保存整備工事	H26.3.11	H26.5.16	文化庁長官	H26.5.16 ～H27.3.31	H27.4.3
2	富岡市長	受付台、照明設備、スピーカー、関係者席設置(シルク・サミット2014)	H26.4.8	H26.4.8	富岡市教育委員会	H26.4.16 ～H26.4.18	H26.4.21
3	富岡市長	規制標識の設置	H26.4.18	H26.4.18	富岡市教育委員会	H26.4.21 ～H26.4.22	H26.5.7
4	富岡市長	診療所北便所新築工事	H26.5.21	H26.7.18	文化庁長官	H26.7.18 ～H27.3.31	H27.4.4
5	富岡市長	乾燥場周囲の発掘調査	H26.5.22	H26.7.18	文化庁長官	H26.７.18 ～H26.11.28	H26.12.1
6	富岡市長	重要文化財災害復旧工事（検査人館・女工館・首長館・東置繭所・繰糸所）	H26.6.4	H26.7.18	文化庁長官	H26.7.18 ～H26.12.31	H27.1.3
7	富岡市長	世界遺産登録記念イベント(ステージ、簡易テント、音響設備、簡易型トイレの設置)	H26.6.16	H26.6.17	富岡市教育委員会	H26.6.18 ～H26.6.22	H26.6.27
8	富岡市長	世界遺産登録記念式典(スクリーン、照明設備、スピーカー、パネル、関係者席等設置)	H26.7.19	H26.7.22	富岡市教育委員会	H26.7.23 ～H26.7.28	H26.7.31
9	富岡市長	床置形エアコン設置(検査人館休憩室、東置繭所)	H26.7.25	H26.7.28	富岡市教育委員会	H26.8.18 ～H26.8.29	H26.9.3
10	富岡市長	ミストシャワー設置	H26.8.8	H26.8.12	富岡市教育委員会	H26.8.13 ～H26.9.30	H26.10.2
11	富岡市長	テント、長机、椅子、投光用やぐら、投光機器、音響機器等設置(プロジェクションマッピング)	H26.8.21	H26.8.21	富岡市教育委員会	H26.8.29 ～H26.8.30	H26.9.4
12	富岡市長	西置繭所保存修理に伴う仮設工事及び乾燥場・繭扱場ほか２棟雪害被災に伴う災害復旧(仮設工事,解体格納)	H26.8.21	H26.9.19	文化庁長官	H26.9.19 ～H32.3.31	
13	富岡市長	開口部の整備、スロープ設置(繰糸所見学コース変更)	H26.9.4	H26.9.5	富岡市教育委員会	H26.9.5 ～H26.4.30	H27.5.5
14	富岡市教育委員会教育長	旧富岡製糸場セミナー・ワークショップ（東置繭所南側に枠組足場）	H26.10.20	H26.10.21	富岡市教育委員会	H26.10.24 ～H26.10.29	H26.10.30
15	富岡市長	順路案内看板及びガイドツアー案内板の設置	H26.11.12	H26.11.12	富岡市教育委員会	H26.11.13 ～H26.11.14	H26.11.17
16	富岡市長	南面崩落対策工事に伴う、工事搬入路及び資材置場設置	H26.12.19	H26.12.24	富岡市教育委員会	H26.12.25 ～H27.3.31	H27.4.2
17	富岡市長	社宅説明板設置	H27.2.19	H27.2.20	富岡市教育委員会	H27.2.28 ～H27.2.28	H27.3.3
18	富岡市長	ガイドツアー整理券販売所設置	H26.3.14	H27.3.17	富岡市教育委員会	H27.3.25 ～H27.3.31	H27.4.2
19	富岡市長	便所案内看板設置	H27.3.23	H27.3.25	富岡市教育委員会	H27.3.31 ～H27.3.31	H27.4.2

田島弥平旧宅

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1		該当なし					

高山社跡

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	藤岡市長	焚屋及び外便所の解体調査、復元修理	H26.6.5	H26.7.18	文化庁長官	許可後～H27.3.31	
2	藤岡市教育委員会教育長	多言語ガイドシステム導入に伴う送信機器の設置	H26.9.10	H26.9.10	藤岡市教育委員会	許可後～H27.3.31	
3	藤岡市長	焚屋調査のためモルタルの除去、半截掘削、外便所調査のため掘削、基礎石材補強	H26.9.29	H26.10.29	文化庁長官	許可後～H27.3.31	

荒船風穴

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	下仁田町長	定点観測のための観測機器の設置	H27.2.23	H27.2.27	文化庁長官	H27.2.23～H27.3.31	
2	下仁田町長	学術調査のための埋蔵文化財発掘調査	H27.2.25	H27.4.17	文化庁長官	H27.4.17～H28.3.31	
3	下仁田町長	石積調査復旧事業	H27.2.25	H27.4.17	文化庁長官	H27.4.17～H28.3.31	

平成26年度 文化財保護法に基づくき損届一覧

富岡製糸場

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備　考
1	検査人館(窓ガラス)	強風により検査人館２階西側の建具が落下し、ガラス３枚が破損。	H26.5.16	H26.5.16	H26.5.19	史跡、重要文化財
2	候門所(窓ガラス)	動物（猫等）が衝突して割れたものとみられる。	H26.5.20	H26.5.20	H26.5.20	史跡、重要文化財

田島弥平旧宅

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備　考
1	種蔵	入口扉取付部枠の右側部分の漆喰と土壁が崩落し、内側の軸組が露出。	H26.7.2	H26.7.2	H26.7.10	
2	東門屋根	屋根軒先の屋根瓦と野地板を重鎮している漆喰が剥落した。	H26.10.17	H26.10.17	H26.10.23	

高山社跡

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備　考
1	母屋兼蚕室東和室	多言語ガイドシステムの送信用機器設置中に、天井板が落下。	H26.10.3	H26.10.3	H26.10.10	
2	史跡敷地内法面	降雨により史跡敷地内法面の一部が崩壊。	不明	H26.10.29	H26.11.4	

荒船風穴

No.	き損場所	き損の状況	き損の生じた日	事実を知った日	き損届日	備　考
1		該当なし				

３．群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況

群馬県世界遺産協議会は、県及び構成資産の所在する４市町、またオブザーバーとして「田島弥平旧宅」の緩衝地帯に含まれる埼玉県及び本庄市を構成員とし、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を恒久的かつ確実に保存するため、関係者が相互連携を図りながら、包括的保存管理計画に定める基本方針に基づき、統一的な運用を図ることを目的として、平成24年５月に設置された。

また、構成資産が所在する各市町では、世界遺産登録前後から、その価値を将来に継承するための保存修理や活用方法について、有識者による委員会を立ち上げ、複数回にわたり議論を重ねてきた。

ここでは、群馬県世界遺産協議会及び各市町において実施した委員会について簡潔にまとめる。

（１）群馬県世界遺産協議会

平成26年６月４日	第５回群馬県世界遺産協議会 イコモス勧告及び第38回世界遺産委員会に関する報告、 来訪者が急増した現状の課題、包括的保存管理計画について協議
平成27年３月18日	第６回群馬県世界遺産協議会 包括的保存管理計画フォローアップについて協議

（２）富岡市

平成26年４月５日	第３回富岡製糸場保存修理委員会 史跡整備事業等について協議
平成26年８月27日	第４回富岡製糸場保存修理委員会 乾燥場保存整備等について協議
平成27年３月30日	第５回富岡製糸場保存修理委員会 史跡整備事業等について協議

（３）伊勢崎市

平成26年７月15日	第３回伊勢崎市田島弥平旧宅調査整備委員会 事業計画について協議
平成26年10月17日	第４回伊勢崎市田島弥平旧宅調査整備委員会 全体計画について協議
平成27年３月17日	第５回伊勢崎市田島弥平旧宅調査整備委員会 整備活用基本計画について

（４）藤岡市

平成26年７月15日	第１回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会 周辺整備実施設計について協議
平成26年９月12日	第２回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会 周辺整備実施設計について協議
平成26年11月20日	第３回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会 周辺整備実施設計について協議
平成27年２月10日	第４回史跡高山社跡保存整備計画策定委員会 高山社跡補修、周辺整備について協議

（５）下仁田町

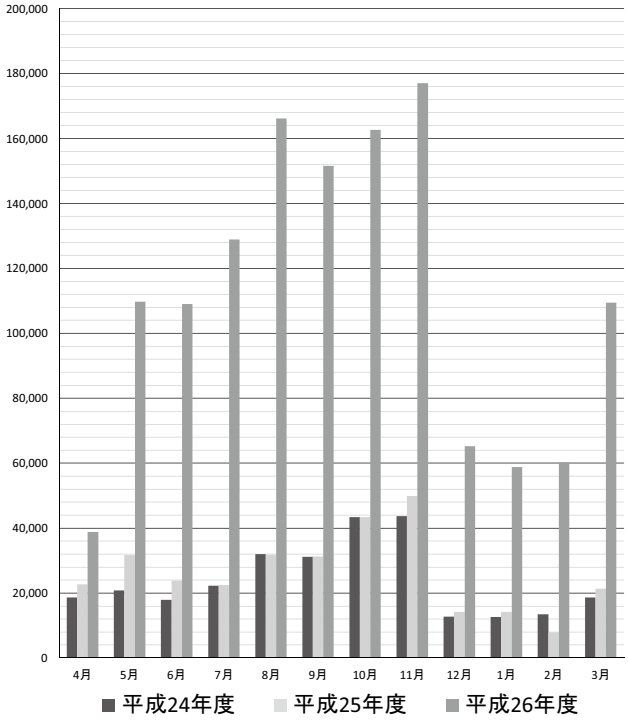
平成26年11月19日	第１回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会 整備基本構想の策定にあたり基本理念・方針の確認
平成27年１月27日	第２回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会 危険箇所把握調査の報告、保存整備の基本的方向性について協議
平成27年３月20日	第３回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会 基本構想案について協議

第５回群馬県世界遺産協議会の様子

４．各構成資産への来訪者数の推移

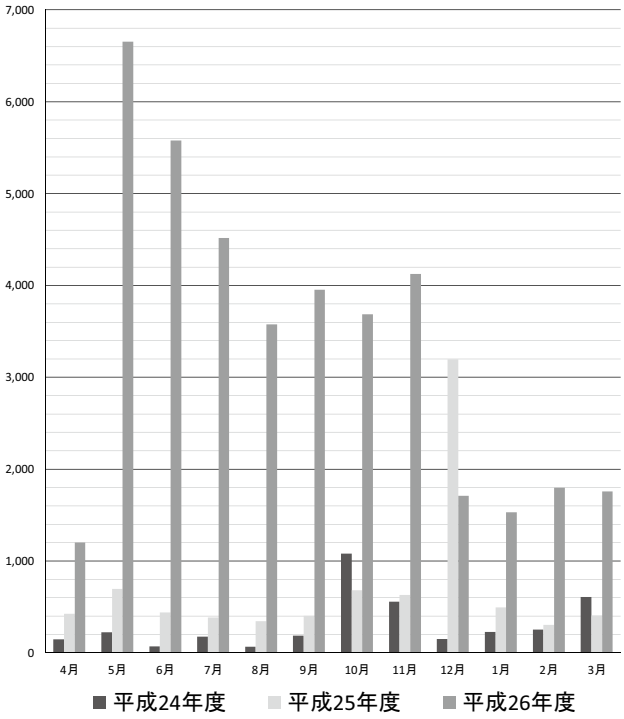
富岡製糸場

平成26年度		平成25年度		平成24年度	
４月	38,821	４月	22,652	４月	18,593
５月	109,703	５月	31,634	５月	20,812
６月	109,064	６月	23,858	６月	17,924
７月	128,925	７月	22,448	７月	22,242
８月	166,168	８月	31,840	８月	31,972
９月	151,534	９月	31,223	９月	31,144
10月	162,685	10月	43,394	10月	43,373
11月	177,071	11月	49,857	11月	43,740
12月	65,232	12月	14,208	12月	12,735
１月	58,769	１月	14,201	１月	12,662
２月	60,289	２月	7,888	２月	13,473
３月	109,459	３月	21,313	３月	18,668
合計	1,337,720		314,516		287,338



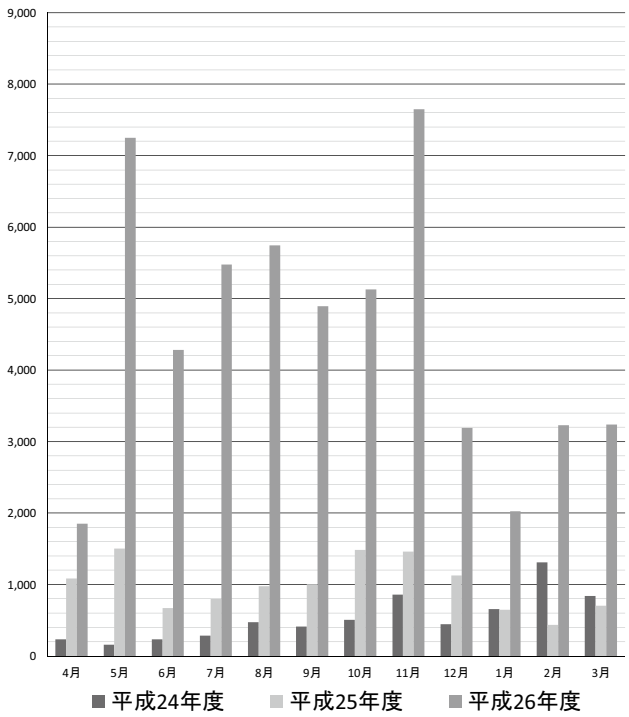
田島弥平旧宅

平成26年度		平成25年度		平成24年度	
4月	1,201	4月	425	4月	147
5月	6,653	5月	698	5月	223
6月	5,579	6月	440	6月	70
7月	4,517	7月	384	7月	176
8月	3,577	8月	346	8月	67
9月	3,952	9月	402	9月	187
10月	3,686	10月	681	10月	1,081
11月	4,126	11月	632	11月	558
12月	1,709	12月	3,195	12月	151
1月	1,529	1月	496	1月	228
2月	1,799	2月	306	2月	254
3月	1,758	3月	409	3月	610
合計	40,086		8,414		3,752



高山社跡

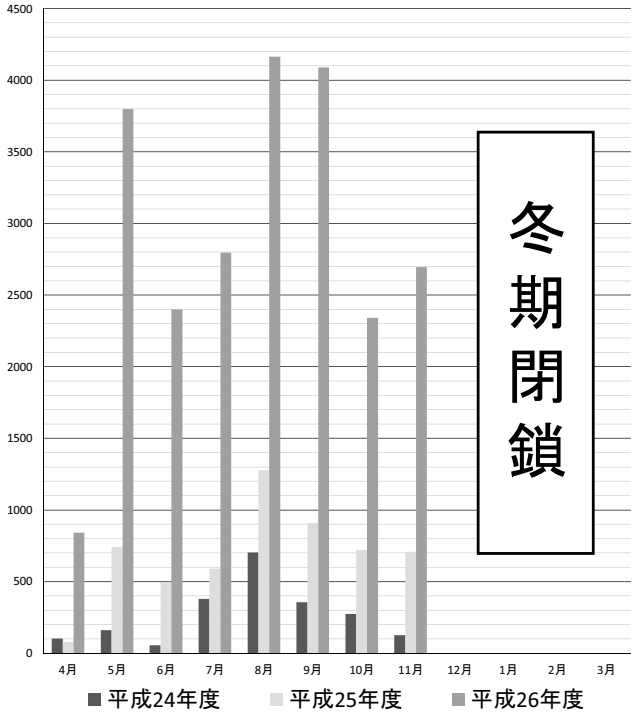
平成26年度		平成25年度		平成24年度	
4月	1,849	4月	1,086	4月	231
5月	7,251	5月	1,505	5月	160
6月	4,282	6月	671	6月	232
7月	5,478	7月	798	7月	283
8月	5,743	8月	978	8月	471
9月	4,895	9月	1,002	9月	410
10月	5,130	10月	1,486	10月	507
11月	7,650	11月	1,461	11月	859
12月	3,191	12月	1,126	12月	445
1月	2,023	1月	646	1月	658
2月	3,228	2月	434	2月	1,312
3月	3,238	3月	702	3月	842
合計	53,958		11,895		6,410



荒船風穴

平成26年度		平成25年度		平成24年度	
4月	842	4月	78	4月	103
5月	3,797	5月	741	5月	162
6月	2,400	6月	495	6月	55
7月	2,796	7月	590	7月	380
8月	4,165	8月	1277	8月	704
9月	4,088	9月	909	9月	357
10月	2,340	10月	719	10月	275
11月	2,695	11月	708	11月	125
12月		12月		12月	
1月		1月		1月	
2月		2月		2月	
3月		3月		3月	
合計	23,123		5,517		2,161

※12月～３月は冬期閉鎖



５．周辺整備の状況

世界遺産登録を機に、資産そのものの整備のみならず、緩衝地帯内では見学者のアクセスや利便性向上のための整備や修景等も平行して行われている。

（１）富岡製糸場

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、多くの観光客が富岡製糸場を訪れるようになり製糸場周辺の空き店舗には、建物を改修して新規出店する事業者が増加している。

市民の意識にも変化が生まれ、富岡製糸場を支えた養蚕業や富岡製糸場周辺の情緒ある町並みといった富岡ならではのブランドを見つめ直すきっかけにもなり、地元商店街もかつての賑わいを徐々に取り戻し始めている。

富岡市としても、世界遺産富岡製糸場をまちづくりの核と位置付け、様々な整備事業に着手した。

富岡製糸場周辺整備事業としては、歩行者動線や安全の確保を図るため、製糸場前の城町通りをカラー舗装にするとともに、地域住民の理解と協力のもと時間帯による一方通行規制を実施した。

また、富岡製糸場周辺に点在する市有地の効果的活用を図るため、ポケットパークとして宮本町路地庭広場を整備した。数多くの花や樹木を植栽することにより、見学者だけでなく、市民が集える緑豊かな空間を創出した。

さらに、観光客の回遊性向上を図るため、まちなか路面舗装工事を実施した。石畳風の路面に整備することで、観光客に町の歴史を懐古させるとともに、レトロな街並みと調和のとれた景観づくりを推進した。

景観づくりにあたっては、景観形成助成事業を実施し、景観重要資源の修理修景及び市民景観形成協定に基づく建築物の修理修景を推進した。平成26年度の実績として、計18件・総額44,034,000円の建築物等修理修景事業助成金を交付し、まちなみ景観の向上を図った。

富岡製糸場周辺の整備を進める一方で、上州富岡駅周辺には、憩いの場やイベントスペースとして環境広場及び交流広場を整備した。世界遺産にふさわしいまちの玄関口としての機能拡充を図ることにより、観光客へのおもてなしに努め、ホスピタリティの向上を目指した。また、当該施設を利用した数多くのイベントも開催され、世代を超えた交流や賑わいを創出することにつながった。

まちなか路面舗装工事

建築物等修理修景

上州富岡駅周辺整備

（２）田島弥平旧宅

平成26年12月、田島弥平旧宅から50ｍの場所に「境島村おもてなし広場」を開設。広場では、地元住民による観光客へのおもてなし活動が実施されている。

（３）高山社跡

増加する見学者に対応するため市営駐車場を整備し、市営駐車場から高山社跡へ移動する際の安全を確保するため、白塩橋までの間の県道に約50ｍの歩行スペースを設けるとともに、三名川右岸に遊歩道を整備した。また、遊歩道から高山社跡側へ渡るための仮設の人道橋を設置した。さらに、遊歩道脇には、日没後でも安全に歩行できるよう、足元を照らすエントランスライトを設置した。

市営駐車場に、高山社跡や他の構成資産、藤岡市の観光情報を閲覧できるデジタルサイネージを設置した。

このほか、三名川右岸に今後整備される（仮称）高山公園へのアクセスとして、(仮称) 新白塩橋橋梁工事のうち、下部工工事を実施し、橋台及び護岸擁壁を施工したほか、同地に整備される予定のガイダンス施設の設計や活用方法について検討を行った。

（４）荒船風穴

来訪者増加対策として、史跡から800メートル離れた神津牧場牧草地に来訪者用駐車場を整備した。風穴の冷風環境に影響を及ぼす可能性を考慮し、鉄板敷きとした。

また、神津牧場内の幅員が狭く、車両のすれ違いが困難なため、約130ｍの区間について拡幅した。

（５）その他

①広域的な交通誘導看板の設置

各構成資産の周辺の国及び県が管理する道路に、広域的な交通誘導看板を92本設置した。

（内訳）富岡製糸場：32本，田島弥平旧宅：24本，高山社跡：23本，荒船風穴13本

②ＪＲ高崎駅構内における案内看板の設置

ＪＲ高崎駅で上信電鉄に乗り換えて、富岡製糸場及び荒船風穴を訪れる観光客を円滑に案内するため、同駅構内の４ヶ所に案内看板を設置した。

６．群馬県及び各市町における基金の状況

群馬県及び構成資産が所在する各市町では、主に世界遺産となった資産を将来の世代に引き継ぐための保存修理や周辺整備、活用を目的として基金を設置している。

（１）群馬県

「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする「ぐんま絹遺産」の継承に資する事業に役立てるため、平成26年10月17日「世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」を設置した。

平成27年３月31日時点　基金残高　10,904,719円

（２）富岡製糸場

世界遺産・国宝である富岡製糸場の文化遺産としての価値を適切に保存し、後世に引き継ぐとともに、富岡製糸場の保存活用及びその周辺整備事業の財源に充てるため平成20年９月24日に設置した「富岡製糸場基金」への積み立てを継続した。

平成27年3月31日時点　基金残高　545,648,436円

（３）田島弥平旧宅

田島弥平旧宅を活用する事業の財源に充てるため、平成26年12月16日に「伊勢崎市田島弥平旧宅活用基金」を設置した。

平成27年３月31日時点　基金残高　15,000,000円

（４）荒船風穴

荒船風穴の保存活用及び今後の周辺整備事業の財源に充てるため、平成26年９月16日に「荒船風穴基金」を設置した。

平成27年３月31日時点　基金残高　5,527,619円

７．調査研究事業の実施状況について

平成26年度に、構成資産の所在する各市町において実施した主な調査研究事業や新たに判明した事実に関する資料の受入状況は以下のとおりである。

（１）富岡製糸場

前述した保存修理に伴う建造物調査、発掘調査のほか、フランス・ボネ絹工場と富岡製糸場の比較研究、富岡製糸場のお雇いフランス人たちに関する調査、日本蚕糸製造㈱経営期における富岡製糸場の経営実態に関する調査、富岡製糸場における昭和20年代後半から30年代初めの施設・設備の変遷等についての調査を行った。

（２）田島弥平旧宅

主屋及び文庫蔵、新座敷の補足調査を行い、前回調査で測れなかった寸法及び痕跡、仕様等を調査し図面を作成した。床下の構造、居室内部の仕様及び寸法を重点的に調査し、内部写真の撮影を行った。

（３）高山社跡

前述した保存修理に伴う調査のほか、授業員派遣の資料を調査し、その仕組みや派遣先での活動の一部が判明した。このほか、外便所の内壁に書かれていた落書きについて、肉眼では捉えにくい部分もあるため、赤外線カメラを使用し調査した。

（４）荒船風穴

管理棟（番舎）跡周辺の建物情報を得ることを目的として周辺遺構確認調査を実施した。番舎跡は表土が浅く、削平のため基礎構造の確認ができなかったが、大正期に建設された周辺付帯施設（貯水槽、池、注水土管、便所、物置）の位置情報が明らかにされた。また、管理棟南石積の崩落防止のため応急処置として土嚢を設置していたが獣害で崩落が進んでいたため、復旧のため試掘調査を行った。石積高さは50～70cmであり、使用された石積石材は玄武岩崩落石を中心としたものであった。左右に残る石積と調和させて復旧を実施した。

８．ぐんま絹遺産

群馬県では、県内各地に残る絹に関連する遺産を再評価し、保存活用を図るため、平成23年度から「ぐんま絹遺産」の登録を行っている。

絹遺産をネットワーク化することにより、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と各地に残る絹遺産の連携を推進し、絹遺産の保存と継承を図るとともに本県の地域振興、観光及び文化的事業の新たな核にしようとするものである。

平成25年度までに84件の養蚕・製糸・織物・流通に関わる文化財等が登録されている。平成26年度は新たに７件を追加登録した。これにより「ぐんま絹遺産」は91件となり、県内の25市町村に所在している。

ぐんま絹遺産一覧（平成27年３月現在）

	登録番号	登録日	名　　称	所在地	文化財指定の状況等
1	第23-１号	H23. 7 .14	旧富岡製糸場	富岡市	国宝・重要文化財・史跡
2	第23-２号	H23. 7 .14	碓氷峠鉄道施設	安中市	重要文化財
3	第23-３号	H23. 7 .14	旧黒澤家住宅	上野村	重要文化財
4	第23-４号	H23. 7 .14	富沢家住宅	中之条町	重要文化財
5	第23-５号	H23. 7 .14	旧蚕糸試験場事務棟（前橋市蚕糸記念館）	前橋市	県重要文化財
6	第23-６号	H23. 7 .14	旧上毛モスリン事務所	館林市	県重要文化財
7	第23-７号	H23. 7 .14	旧碓氷社本社事務所	安中市	県重要文化財
8	第23-８号	H23. 7 .14	旧関根家住宅	前橋市	市重要文化財
9	第23-９号	H23. 7 .14	旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟	桐生市	市重要文化財
10	第23-10号	H23. 7 .14	旧鈴木家住宅	沼田市	市重要文化財
11	第23-11号	H23. 7 .14	妙義神社青銅製灯籠	富岡市	市重要文化財
12	第23-12号	H23. 7 .14	貫前神社唐銅製灯籠	富岡市	市重要文化財
13	第23-13号	H23. 7 .14	旧上野鉄道関連施設　鬼ヶ沢橋梁	富岡市 下仁田町	市・町重要文化財
14	第23-14号	H23. 7 .14	旧小幡組製糸レンガ造り倉庫	甘楽町	町重要文化財
15	第23-15号	H23. 7 .14	春日神社太々神楽	前橋市	市重要無形民俗文化財
16	第23-16号	H23. 7 .14	前橋の養蚕・製糸用具及び関連資料	前橋市	登録有形民俗文化財
17	第23-17号	H23. 7 .14	高山社跡	藤岡市	史跡
18	第23-18号	H23. 7 .14	荒船風穴	下仁田町	史跡
19	第23-19号	H23. 7 .14	東谷風穴	中之条町	史跡
20	第23-20号	H23. 7 .14	船津伝次平の墓	前橋市	県史跡
21	第23-21号	H23. 7 .14	馬場重久の墓	吉岡町	県史跡
22	第23-22号	H23. 7 .14	富岡製糸場工女等の墓（海源寺）	富岡市	市史跡
23	第23-23号	H23. 7 .14	富岡製糸場工女等の墓（龍光寺）	富岡市	市史跡

	登録番号	登録日	名　　称	所在地	文化財指定の状況等
24	第23-24号	H23. 7 .14	薄根の大クワ	沼田市	天然記念物
25	第23-25号	H23. 7 .14	下郷の大クワ	渋川市	県天然記念物
26	第23-26号	H23. 7 .14	六合赤岩養蚕農家群	中之条町	重要伝統的建造物群保存地区
27	第23-27号	H23. 7 .14	田島弥平旧宅	伊勢崎市	史跡
28	第23-28号	H23. 7 .14	旧上野鉄道関連施設　下仁田倉庫	下仁田町	
29	第23-29号	H23. 7 .14	群馬県立日本絹の里	高崎市	
30	第23-30号	H23. 7 .14	群馬県繊維工業試験場	桐生市	
31	第23-31号	H24. 2 . 6	萩原家住宅	前橋市	登録有形文化財
32	第23-32号	H24. 2 . 6	旧安田銀行担保倉庫	前橋市	登録有形文化財
33	第23-33号	H24. 2 . 6	上毛電気鉄道（大胡駅駅舎ほか）	前橋市	登録有形文化財
34	第23-34号	H24. 2 . 6	旧勝山社煉瓦蔵	前橋市	登録有形文化財
35	第23-35号	H24. 2 . 6	桐生織物会館旧館	桐生市	登録有形文化財
36	第23-36号	H24. 2 . 6	金谷レース工業株式会社	桐生市	登録有形文化財
37	第23-37号	H24. 2 . 6	MAEHARA 20th （旧合名会社飯塚織物工場）	桐生市	登録有形文化財
38	第23-38号	H24. 2 . 6	無鄰館（旧北川織物工場事務所ほか）	桐生市	登録有形文化財
39	第23-39号	H24. 2 . 6	旧堀祐織物工場	桐生市	登録有形文化財
40	第23-40号	H24. 2 . 6	旧曽我織物工場	桐生市	登録有形文化財
41	第23-41号	H24. 2 . 6	後藤織物	桐生市	登録有形文化財
42	第23-42号	H24. 2 . 6	森秀織物	桐生市	登録有形文化財
43	第23-43号	H24. 2 . 6	織物参考館“紫”	桐生市	登録有形文化財
44	第23-44号	H24. 2 . 6	小茂田家住宅	伊勢崎市	登録有形文化財
45	第23-45号	H24. 2 . 6	日本基督教団島村教会	伊勢崎市	登録有形文化財
46	第23-46号	H24. 2 . 6	門前春駒	川場村	県重要無形民俗文化財
47	第23-47号	H24. 2 . 6	中居屋重兵衛の墓（附　関係文書）	嬬恋村	県史跡
48	第23-48号	H24. 2 . 6	柏木沢の蚕影碑	高崎市	市史跡
49	第23-49号	H24. 2 . 6	大林馬道の大桑	高崎市	市天然記念物
50	第23-50号	H24. 2 . 6	赤城型民家	桐生市	市重要文化財
51	第23-51号	H24. 2 . 6	碓氷社の万国博覧会英文表彰状	安中市	市重要文化財
52	第23-52号	H24. 2 . 6	紺周郎神碣	前橋市	
53	第23-53号	H24. 2 . 6	田島弥平の碑	伊勢崎市	
54	第23-54号	H24. 2 . 6	利根風穴	沼田市	
55	第23-55号	H24. 2 . 6	蚕神社の石碑	吉岡町	
56	第23-56号	H24. 2 . 6	稚産霊神の石碑	吉岡町	
57	第23-57号	H24. 2 . 6	岩崎竹松翁の功徳碑	神流町	
58	第23-58号	H24. 2 . 6	群馬県蚕糸技術センター	前橋市	

	登録番号	登録日	名　　称	所在地	文化財指定の状況等
59	第24-59号	H24.11.13	彦部家住宅	桐生市	重要文化財・県史跡
60	第24-60号	H24.11.13	八幡八幡宮唐銅燈籠	高崎市	市重要文化財
61	第24-61号	H24.11.13	旧大間々銀行本店及び土蔵	みどり市	市重要文化財
62	第24-62号	H24.11.13	金善ビル	桐生市	登録有形文化財
63	第24-63号	H24.11.13	雲越家住宅	みなかみ町	重要有形民俗文化財
64	第24-64号	H24.11.13	下南室太々御神楽の養蚕の舞	渋川市	県重要無形民俗文化財
65	第24-65号	H24.11.13	南牧の養蚕・繰糸・機織用具	南牧村	登録有形民俗文化財
66	第24-66号	H24.11.13	日本織物株式会社発電所跡及び煉瓦積遺構	桐生市	市史跡
67	第24-67号	H24.11.13	桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区	桐生市	重要伝統的建造物群保存地区
68	第24-68号	H24.11.13	桐生織塾（旧青木家住宅）	桐生市	
69	第24-69号	H24.11.13	諏訪神社常夜燈及び手水石	藤岡市	
70	第24-70号	H24.11.13	縫島家住宅	藤岡市	
71	第24-71号	H24.11.13	町田菊次郎生家宅	藤岡市	
72	第24-72号	H24.11.13	渡辺家住宅	玉村町	
73	第24-73号	H24.11.13	諏訪神社宮神輿	藤岡市	
74	第24-74号	H24.11.13	白瀧神社	桐生市	
75	第24-75号	H24.11.13	高山長五郎功徳碑	藤岡市	
76	第24-76号	H24.11.13	高山長五郎の墓	藤岡市	
77	第24-77号	H24.11.13	福島元七顕彰碑(福島翁の碑)	藤岡市	
78	第24-78号	H24.11.13	町田菊次郎頌徳碑	藤岡市	
79	第25-79号	H26. 3 .28	春秋館文書	下仁田町	町重要文化財
80	第25-80号	H26. 2 .28	富岡製糸場絵馬	甘楽町	町重要文化財
81	第25-81号	H26. 2 .28	蚕影山宮の石宮	沼田市	
82	第25-82号	H26. 2 .28	絹笠神社社殿　附霜災懲毖之碑	安中市	
83	第25-83号	H26. 2 .28	甘楽町の養蚕・製糸・織物資料	甘楽町	
84	第25-84号	H26. 2 .28	雲門寺の馬鳴菩薩像	安中市	
85	第26-85号	H27. 2 . 2	咲前神社本殿　附末社絹笠神社・神楽殿・根子石・太々神楽	安中市	市重要無形文化財（太々神楽）
86	第26-86号	H27. 2 . 2	永井流養蚕伝習所実習棟	片品村	村重要文化財
87	第26-87号	H27. 2 . 2	太田市新田猫絵コレクション	太田市	
88	第26-88号	H27. 2 . 2	蚕神塔	沼田市	
89	第26-89号	H27. 2 . 2	上州新町驛紡績所版木	藤岡市	
90	第26-90号	H27. 2 . 2	甘楽社小幡組由来碑	甘楽町	
91	第26-91号	H27. 2 . 2	大泉町文化むら資料館（旧対比地家住宅）	大泉町	

第３章

普及関連事業の実施状況

１．富岡製糸場における暫定展示

（１）暫定展示実施の経緯

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は４つの構成資産でひとつの顕著な普遍的価値を現すものであり、保存のための総括的なマネージメントとともに、総合的な情報発信、解説、調査研究等を行うことが求められている。（世界遺産条約参照）

そのため、群馬県では平成25年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」総合管理活用機構検討委員会を立ち上げ、拠点施設（仮称：世界遺産センター）の設置について検討を行った。しかし、新たな拠点施設の整備には時間を要することから、平成26年４月のイコモス勧告以降に急増した来訪者に対する展示解説に早急に対応するため、拠点施設整備までの間、暫定展示を行うこととした。

（参考）
〇世界遺産条約（文化庁仮訳）
４条　　条約の目的は、顕著な普遍的価値を有する文化遺産及び自然遺産を認定し保護、公開するとともに、将来の世代に伝えていくこと。
５条　　遺産の保護、公開を行う国又は地域研修センターの設置、発展を促進しこれら分野の科学的調査を推進すること。

（２）暫定展示の状況

暫定展示は、最も来訪者の多い富岡製糸場で行っている。富岡製糸場の東置繭所１階北側では、以前から富岡市が富岡製糸場のガイダンス展示を行っており、その一角に世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の全体像を解説するパネルを平成26年９月に設置した。

パネルでは、世界遺産の基本的な説明、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値、歴史的な背景、４資産のつながり、地理的な位置情報、ぐんま絹遺産などについて解説している。

この暫定展示を通じて、富岡製糸場に集中している来訪者に、世界遺産の全体像を知ってもらい、他の資産を訪れるきっかけを与えるとともに、絹文化や絹遺産が数多く残る群馬県内の周遊に繋がることを期待している。

平成27年度以降は、富岡製糸場を除く３資産の模型等の展示を予定しており、順次拡充していく方針である。

暫定展示の様子

２．世界遺産登録記念　シルクカントリー in 富岡

群馬県と上毛新聞社は、世界遺産やぐんま絹遺産をはじめとする県内の絹遺産や、絹に関する歴史文化を活用した新しい地域づくりの更なる強化充実を図るため、平成24年度に「シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会」を発足。この実行委員会が主体となり県内各地で多彩なイベント等を展開している。

平成26年度は「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念して、富岡製糸場の開業記念日である10月４日を中心に富岡市で普及啓発イベントを実施した。

（１）日程：平成26年10月4日（土）、5日（日）※一部展示は9月27日から

（２）会場：富岡製糸場、上州富岡駅前広場等

（３）主催：群馬県、富岡市、群馬県歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会、シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会、フィールドミュージアム「21世紀のシルクカントリー群馬」推進委員会、上毛新聞社

（４）内容：○世界遺産登録＆開業記念式典、「絹の国のお宝」表彰式（10/4）

○シルクカントリー群馬「開業記念トークショー＆シンポジウム」(10/4)

トークショーゲスト：群馬観光大使　中山秀征、井森美幸

シンポジウムテーマ：50年後の絹の国（パネリスト：今井幹夫、東宣江、中野紘子、高橋直矢（７年ぶり養蚕農家後継者））

○シルクカントリー群馬「世界遺産登録記念シンポジウム」(10/4)

シンポジウムテーマ：50年後の絹の国～若者から見た未来（パネリスト：学生４人（富岡高校、富岡東高校、富岡実業高校、高崎商科大学）

○親子俳句＆写真教室（10/5）

○駅からハイキング（10/5）※ＪＲ東日本高崎支社、上信電鉄、甘楽町等と協力

○ぐんまの手仕事展（10/5）

○世界遺産市場（10/4、5）(物産市、抽選会、ゆるキャラショーなど)

○上信電鉄　世界遺産レトロ列車　デキ号運行（10/4、5）

○「絹の国のお宝」特別展（9/27～10/5）

○小林生子絵手紙原画展（9/27～10/5）

シンポジウム「50年後の絹の国」

世界遺産市場

３．世界遺産登録記念　シルクカントリーぐんま伝統芸能の祝祭

県民団体や民間企業等と実行委員会を結成し、世界遺産登録を記念して、本県絹産業の隆盛とともに開花した豊かな伝統芸能に光をあて、世界遺産登録で注目される本県の文化や絹産業の歴史的な価値、魅力等について発信する事業を行った。

（１）日程・場所：

平成27年３月22日（日）　富岡市かぶら文化ホール（定員1,100人）

平成27年３月23日（月）　伊勢崎市文化会館大ホール（定員 1,400人）

（２）主催：群馬県、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、上毛新聞社、世界遺産を活かした群馬文化遺産発信実行委員会、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会

（３）内容：

【22日】(県内の出演者)

下南室太々御神楽講（渋川市、ぐんま絹遺産)、上州富岡妙義雷太鼓（富岡市)、荒船太鼓（下仁田町)、川場村繭かき唄保存会（川場村)、門前春駒保存会（川場村、ぐんま絹遺産)、みなかみ町子ども歌舞伎（みなかみ町)、尻高人形芝居（高山村、休憩時間等にロビーにて実演)

(ゲスト出演者)

鼓童（和太鼓)、吉田兄弟（津軽三味線)

【23日】(県内の出演者)

春日神社太々神楽保存会（前橋市、ぐんま絹遺産)、白瀧神社太々神楽保存会（桐生市、神社がぐんま絹遺産)、剛志民謡保存会（伊勢崎市)、千本木龍頭神舞保存会（伊勢崎市)、尻高人形芝居（高山村、休憩時間等にロビーにて実演)

(ゲスト出演者)

鼓童（和太鼓)、春風亭小朝（落語)

【両日】・演目の解説

・「富岡製糸場と絹産業遺産群」のパネル、写真の展示と解説

下南室太々御神楽講

白瀧神社太々神楽保存会

４．各市町における普及関連事業

構成資産の所在する４市町においても様々な普及啓発事業が行われた。主な事業は以下のとおりである。

（１）富岡市

平成26年５月20～21日	富岡製糸場解説員養成講座
平成26年６月～７月	富岡製糸場こども解説員養成講座
平成26年６月21日	富岡製糸場世界遺産登録祝賀パレード
平成26年７月26日	富岡製糸場世界遺産登録記念式典
平成26年10月５日	発掘調査現地説明会（ボイラー関連施設等）
平成26年10月10日～11月9日	花まゆ展（繭を材料としたフラワーアートの展示会）
平成26年10月25～26日	旧富岡製糸場セミナー・ワークショップ（建築等を学ぶ大学生向けの講座）
平成27年２月６日～３月１日	企画展「ボネとトミオカ」(19～20世紀のフランスの代表的絹工場に関する資料を比較展示)
平成27年２月17～18日	富岡製糸場解説員養成講座

（２）伊勢崎市

平成26年８月１日	伊勢崎市誕生10周年記念事業・世界遺産登録記念イベント「世界遺産を活用したまちづくり」

（３）藤岡市

平成26年７月26日～９月15日	企画展「高山社～高山家資料を中心として～」(藤岡歴史館を会場に、群馬県立歴史博物館と藤岡市教育委員会が所有する高山社関係の資料を展示)
平成26年10月５日	世界遺産登録記念フェスティバル（小学生の学習成果発表、シンポジウム「記憶をつなぐためのしくみをつくろう」など）

（４）下仁田町

平成26年５月17日、６月17日、７月９日	荒船風穴下仁田ジオ応援団解説員養成講座
平成26年８月30日～	２号風穴建築部材の展示（下仁田町ふるさとセンター）
平成26年８月31日	荒船風穴世界遺産登録記念式典
平成26年10月７～８日	発掘調査現地説明会（貯水槽跡など）

５．主な民間の活動

（１）富岡製糸場と絹産業遺産群全体

活　動　名	活動団体	実施時期	活動概要
各種普及広報活動	富岡製糸場世界遺産伝道師協会	通年 (のべ334回)	鉄道駅でのキャンペーン　４回 学校での説明（学校キャラバン）11回 イベント会場での解説　258回 講演会への講師派遣等　61回
世界遺産キャンペーン	シルクカントリーぐんま連絡協議会	H26.5.31 ～6.8	ショッピングモールでの展示・体験イベント
各種普及広報活動	ＮＰＯ産業観光学習館	通年（11回）	モニターツアー・研修会などの実施

（２）富岡製糸場関係

活　動　名	活動団体	実施時期	活動概要
富岡製糸場観桜会	富岡製糸場世界遺産をめざす連絡協議会	H26.4.5～6	場内の桜の花見と各種交流イベント
赤れんが写生大会	社団法人富岡青年会議所・富岡市	H26.4.20	構成資産などを会場とした写生大会
プロジェクションマッピング	富岡青年会議所ほかによる実行委員会	H26.8.30	西置繭所に映像を投影
シャンソン・シルクコンサート	ＮＰＯ法人富岡製糸場を愛する会	H26.10.19	市民参加型の講演会やコンサート等
清掃ボランティア	まちづくり推進協議会	通年（15回）	場内の除草等を実施
	富岡市職員共済会	通年（６回）	
	群馬県市町村職員年金者連盟富岡支部	通年（３回）	
	富岡ロータリークラブ	H26.5.28	
	株式会社ミツバ	H26.5.31	
	富岡公民館	H26.7.16	
	日本光電	通年（３回）	
	ガールスカウト	H26.8.31	
	あいおいﾆｯｾｲ同和損害保険株式会社	H26.10.18	
	富岡市青年女性部	H26.5.21	
	JR労働組合	H27.3.8	
	小町会	H27.3.28	
花壇の維持管理	群馬県立富岡実業高等学校	通年（２回）	場内花壇に花の定植及び維持管理
場内解説	富岡製糸場解説員の会	通年・毎日	来訪者に対して価値を解説
座繰り体験	座繰りボランティア	通年・土日	来訪者向けの座繰り体験

（３）田島弥平旧宅関係

活　動　名	活動団体	実施時期	活動概要
深谷花フェスタでの繭クラフト体験	みちくさ塾	H26.4.26～27	まゆクラフトの作製体験
島村渡船フェスタでの解説活動	ぐんま島村蚕種の会	H26.5.18	パネル展示と島村散歩ガイド
世界遺産フェスタ	世界遺産フェスタ実行委員会	H26.6.22	地元農産物の販売等
来訪者へのおもてなし活動	島村蚕のふるさと会	H26.12～日曜日	桑茶の提供や地元農産物の販売等
案内ガイド	ぐんま島村蚕種の会	H26.7～土日	来訪者に対して価値を解説

（４）高山社跡関係

活　動　名	活動団体	実施時期	活動概要
高山社跡建物内清掃	まゆ花の会	通年(２回)	母屋内の清掃活動
解説ボランティア	高山社を考える会	通年・土日祝	来訪者に対して価値を解説

（５）荒船風穴関係

活　動　名	活動団体	実施時期	活動概要
荒船風穴友の会発足総会講演	荒船風穴友の会	H26.5.26	価値及び保存活動に関する講演会
現地除草活動	荒船風穴友の会	H26.8.9	外来植物の除草
「風穴市場」設置	荒船風穴友の会	H26.9.6	見学者へ地場産物のPR、情報発信
年末大掃除	荒船風穴友の会	H26.12.1	冬季閉鎖前に清掃、除草等を実施
国史跡指定５周年『世界遺産学習会』	荒船風穴友の会	H27.2.22	荒船風穴に係る学習会を開催

６．群馬県及び各市町の発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数

（１）群馬県

名　称	発行部数	概　要
世界遺産・ぐんま絹遺産２連ポスター	3,000	ＰＲポスター
富岡製糸場と絹産業遺産群リーフレット	220,000	世界遺産としての価値を普及するリーフレット
子ども向けパンフレット	40,000	価値を子ども向けに解説するパンフレット
公式ブックレット	8,000	価値を詳細に説明するパンフレット。 日本語含め８言語で作成（印刷は４言語のみ）
世界遺産とぐんま絹遺産周遊ガイド	100,000	世界遺産とその周辺のぐんま絹遺産を紹介するパンフレット
ぐんま絹遺産ガイドブック	40,000	ぐんま絹遺産の概要を掲載するパンフレット
ぐんま絹遺産ＤＶＤ	100	第５回登録のぐんま絹遺産等を紹介するDVD
世界遺産登録記録集	1,000	世界遺産登録推薦書、登録までの道のり

（２）富岡市

名　称	発行部数	概　要
見学者用しおり（一般用・日本語版） （一般用・英語版）	1,570,000 10,000	一般用・見学者用しおり
見学者用しおり（小中学生向け）	230,000	小中学生向け・日本語版の見学者用しおり
リーフレット　（A４・日本語版）	250,000	日本語版リーフレット、A４（表裏）概要解説
ガイダンス展示室内用４種類パンフ	400,000	ガイダンス展示室内に置くパンフレット
お富ちゃん見学ポイント街中おもしろマップ	380,000	富岡製糸場の見学ポイントと街中の店舗情報を載せたマップ
音声ガイド機解説ポイント（日本語版） （英語版）	80,000 2,000	音声ガイド機を使用するポイントを掲載したマップ
平成26年度富岡製糸場総合研究センター報告書	700	調査研究の成果を発表
富岡製糸場と深谷の偉人たち	50,000	富岡製糸場と深く関わった埼玉県深谷市出身の３人を紹介したパンフレット

（３）伊勢崎市

名　称	発行部数	概　要
国指定史跡田島弥平旧宅	40,000	A4版４頁、史跡解説パンフレット
田島弥平旧宅と島村散策	10,000	A3版、散策ガイドマップ
ポスター	5,000	Ｂ2版
パンフレット	59,000	A4版8頁
リーフレット	100,000	A4版
英語版リーフレット	10,000	A4版、上記リーフレットの英語訳

（４）藤岡市

名　称	発行部数	概　要
まんが「高山長五郎の生涯」	5,000	高山長五郎や高山社の歴史、功績等を分かりやすく解説
多言語リーフレット	10,000	外国人見学者向け、多言語版リーフレット
リーフレット	85,000	高山社の歴史や功績等を解説

（５）下仁田町

名　称	発行部数	概　要
荒船風穴蚕種貯蔵所跡【普及版】	1,000	風穴の歴史や冷風発生の仕組みを解説した報告書

（６）群馬県提供写真利用許諾件数

国機関…１件、県内市町村…６件、他県…10件、民間企業等（※）…216件
（※）民間企業等の利用目的の主な内訳
広告・広報…53件、書籍・雑誌…48件、機関誌掲載…37、旅行商品パンフレット…31件

利用案内

富岡製糸場

【場所】富岡市富岡１－１
【交通】公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
車／上信越自動車道富岡I.C.から各市営駐車場まで約10分、有料駐車場から徒歩約５分、無料駐車場から徒歩約20分
【時間】９時～17時（受付は16時30分まで）
【休日】12月29日～31日　※点検・整備等で臨時休場となる場合があります。
【料金】大人1,000円、高校・大学生（要学生証）250円、小・中学生150円
【見学ガイド】
定時解説（約40分）あり
（有料１人１回200円）
【問合せ先】
富岡市観光おもてなし課
TEL.0274-62-5439
※本書記載事項に関する問い合わせ先
富岡市富岡製糸場保全課
TEL.0274-64-0005

高山社跡

【場所】藤岡市高山237
【交通】公共交通機関／JR高崎線新町駅またはJR八高線群馬藤岡駅からバス約35分、JR八高線群馬藤岡駅からタクシー約25分（観光タクシーあり）
車／上信越自動車道藤岡I.C.から約20分、駐車場から徒歩約５分
【時間】９時～17時（６月～８月は18時まで）
【休日】12月28日～１月４日
【見学ガイド】
解説員が常駐（無料）
【問合せ先】
藤岡市教育委員会文化財保護課
TEL.0274-23-5997

田島弥平旧宅

【場所】伊勢崎市境島村2243
【交通】公共交通機関／ＪＲ高崎線本庄駅からタクシー約20分、東武伊勢崎線境町駅からタクシー約15分、ＪＲ上越新幹線本庄早稲田駅からタクシー約25分、土日祝のみ東武伊勢崎線境町駅から無料シャトルバス約25分
車／関越自動車道本庄児玉I.C.から駐車場まで約20分、駐車場から徒歩約10分
【時間】９時～16時
※個人宅で現在も居住しているため、見学の際はご配慮ください。見学範囲は庭及び桑場１階で、その他の建物内部は非公開です。
【見学ガイド】
無料定時ガイドあり
詳細は田島弥平旧宅案内所にお問い合わせください。
【問合せ先】
田島弥平旧宅案内所
TEL.0270-61-5924
伊勢崎市教育委員会文化財保護課
TEL.0270-75-6672

荒船風穴

【場所】下仁田町南野牧甲10690－１外
【交通】公共交通機関／上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分（観光タクシーあり）
車／上信越自動車道下仁田I.C.から約50分、駐車場から徒歩約20分
《注意》急勾配な山道のため、動きやすい服装でお越しください。
【時間】９時30分～16時（受付は15時30分まで）
【休日】12月～３月は冬季閉鎖
※下仁田町歴史館では、荒船風穴に関する資料を展示しているのでご利用ください。
【料金】大人500円（下仁田町在住者は無料）
【見学ガイド】
解説員が常駐（無料）
【問合せ先】
下仁田町歴史館
TEL.0274-82-5345

平成26年度　「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

編集・発行　群馬県企画部世界遺産課
〒371-8570　群馬県前橋市大手町１-１-１
TEL.027-226-2328
E-mail sekaiisan@pref.gunma.lg.jp

発　行　日　平成28年３月

印刷・製本　朝日印刷工業株式会社